羅　立新

20 号館 12 階　羅研究室

- **激動の世界を読む（ビジネス、公共政策、行財政、環境問題などの勉強を一つのきっかけとして）**

国際情勢は今複雑さと不確実性が増している。将来、世界の舞台で羽ばたいていくために、ダイナミックに変化している世界を読み、分析、予測していける能力を身につけよう。

卒論テーマの設定について：指導可能であれば、ジャンル、フィールドを問わない。

- **ゼミの目指す能力**：

♪ 国際的教養、適応力、語学力　　♪ 人間力、思考力、コミュニケーション能力、持続力
♪ 専門力、洞察力、論理力、分析力、判断力、行動力、実践力、協働力、リーダーシップ

- **教育方針とゼミの研究活動：「千里の行」　万巻の書を読む　万里の道を歩く　知行合一**

2500 年前の中国賢者の**老子**は「合抱之木，生於毫末；九層之臺，起於累土；千里之行，始於足下」（**合抱の木も毫末より生え、九層の台も累土より起こり、千里の行も足下に始まる**）との言葉がある。この「**千里の行**」はゼミの合言葉としたい。ゼミ生はそれぞれの才能を生かしながら大きく成長し、世界に大きく羽ばたいていくために、まずその基礎を固めることが必要で、それを実現するためには、ゼミ生の自主性を発揮し、知識の蓄積と同時に、海外フィールドワーク研修調査、研修交流などの活動が行われてきた。

できるだけそれぞれの特長、性格に合わせ、ゼミ生は自分の才能を発見することを手助けし、目標を実現するための力を伸ばすよう全力にサポートしていきたい。どんな時代でも、どこにいてもがんばっていけるという自信と強い精神力を持ってもらえるように、みなさんと一緒に協力し合い、真剣に取り込んでいきたい。

本演習は**二本柱で**取り込んでいく。

その一、卒業研究はゼミ生の関心の高い内容を中心に、それぞれの興味ある対象を見極め、全体像をつかむため、疑問を掘り下げ、学際的、複眼的な視点から取り込み、読書、討論、議論を通して、みなさんの論理的思考力、分析力、洞察力を高め、良い卒論を完成することを目標としたい。データ収集、分析のノウハウも身に着けてもらう。

そのニ、キャリア担当で就職相談、就活指導、ディスカッション、プレゼンの訓練などの就職サポートを積極的にする。

担当教員のネットワークを用いて、

ゼミ生の学内外での国際経験、社会経験など諸活動についてバックアップ、支援する

- **これまでの卒論テーマ例**

水問題とウォーター・ビジネス／プロ野球ビジネス／時代と共に生きるロックミュージック／ウクライナ「避難民」の受け入れ
愛知県の地域医療の課題と展望／盲人支援の歴史と在り方／生物多様性の意義／ MBTI タイプと対人関係の形成維持
世界の裏側を飢えさせる世界経済からの脱却／TPPをめぐって日本の医療の将来／外国人労働者問題の実態と法制度
スポーツと人種差別／ツイッターの社会的影響／捕鯨問題を考える／ CASE 革命で激変する自動車業界／林業復興の道
女性の労働力を低下させる非正規の壁／災害時における地域福祉活動の課題／日本を脅かす自殺の現状と対策
NBA のグローバル戦略／日本における労働力不足問題／アジア経済統合の道／パンデミックとキャッシュレス社会
アパレル廃棄の闇／原発事故後の日本のエネルギー政策／日本のエコカーにおける国際戦略と課題／日本のライドシェア
何故アメリカは銃を手放すことができないのか／介護する側から介護される側の視点への転換／ MMT 理論について
ファストファッションが及ぼす影響／なぜ若者がテロリストに惹きつけられるのか／日本の空き家問題／労働組合のあり方
プラスチックごみ問題とバイオプラスチック／北欧の幸福度はどこから来るのか／イギリスの排出量取引に関する考察
大麻をめぐる国際的動向／日本のスポーツ助成金についての分析／アメリカの黒人差別問題と産獄複合体の深層

- **ゼミ生に望むこと**：

♪ 積極性、主体性　♪ やるなら（体の許す範囲で）ベストを尽くすこと。最後までやり遂げること。
♪ 時間の概念を持つこと。♪ 約束を守ること。♪ チャレンジ精神　♪ よく考えて、互い議論すること。
♪ 友情：ゼミ生仲間を大切にし、互い切磋琢磨、助け合い、ともに進歩していくこと。

- **面談に際しての注意事項**：

➢ まず面談希望日時を複数伝え、メールかラインでアポを取ってください。E-mail：cu11217@fsc.chubu.ac.jp
➢ 送られるアンケートファイルを記入。メールで返信か面談時持参するように。
➢ 主な面談可能な時間帯：月曜日13:00~17:00　火曜日16:50~18:00　木曜日15:20~17:00　金曜日13:00~16:00
できるだけ柔軟に対応するので、相談がある場合は気軽にメールかラインで連絡ください。